

# 2012年8月期業績 および2013年8月期業績見通し

**岡崎 健**

---

株式会社ファーストリテイリング  
グループ上席執行役員 CFO

1

CFOの岡崎です。  
私から、2012年8月期業績、および  
2013年8月期の業績見通しについてご説明いたします。

I. 2012年8月期決算概要	P3	～	P15
II. 2013年8月期業績予想	P16	～	P24
III. ご参考資料	P25	～	P28

**【資料文中のグループ事業の表示について】**

各グループ事業の構成は、以下のとおりです。

国内ユニクロ事業：株式会社ユニクロの数値が表示されています。

海外ユニクロ事業：海外で展開するユニクロ事業が含まれています。

グローバルブランド事業：セオリー事業、コントワー・デ・コトニエ事業、プリンセス タム・タム事業、  
ジュー事業が含まれています。

**【将来予測に関するご注意】**

本資料に掲載されている業績予想、計画、目標数値などのうち、歴史的事実でないものは、作成時点で入手可能な情報に基づき作成した将来情報です。実際の業績は、経済環境、市場の需要・価格競争に対する対応、為替などの変動により、この業績予想、計画、目標数値と大きく異なる場合があります。

## 【連結】2012年8月期実績

**売上高** : 9,286億円 (前期比 +13.2%)  
**営業利益** : 1,264億円 (前期比 +8.7%)  
**経常利益** : 1,252億円 (前期比 +16.9%)  
**当期純利益** : 716億円 (前期比 +31.8%)

単位: 億円

	2011年8月期		2012年8月期		
	通期実績	直近予想 (7/6)	通期実績	前年比	直近予想比
<b>売上高</b> (売上比)	8,203 100.0%	<b>9,295</b> 100.0%	<b>9,286</b> 100.0%	+13.2%	▲0.1%
<b>売上総利益</b> (売上比)	4,257 51.9%	<b>4,765</b> 51.3%	<b>4,754</b> 51.2%	+11.7% ▲0.7p	▲0.2% ▲0.1p
<b>販管費</b> (売上比)	3,094 37.7%	<b>3,450</b> 37.1%	<b>3,490</b> 37.6%	+12.8% ▲0.1p	+1.2% +0.5p
<b>営業利益</b> (売上比)	1,163 14.2%	<b>1,315</b> 14.1%	<b>1,264</b> 13.6%	+8.7% ▲0.6p	▲3.8% ▲0.5p
<b>経常利益</b> (売上比)	1,070 13.1%	<b>1,310</b> 14.1%	<b>1,252</b> 13.5%	+16.9% +0.4p	▲4.4% ▲0.6p
<b>当期純利益</b> (売上比)	543 6.6%	<b>790</b> 8.5%	<b>716</b> 7.7%	+31.8% +1.1p	▲9.3% ▲0.8p

3

まず2012年8月期の連結業績ですが、  
 売上高は9,286億円、前期比13.2%増、  
 営業利益は1,264億円、同8.7%増、  
 経常利益は1,252億円、同16.9%増、  
 当期純利益は716億円、同31.8%増と、  
 増収増益を達成いたしました。

次のスライドで要因をご説明いたします。

**売上高 9,286億円 (前期比+13.2%、1,083億円増収)**

- ・ 海外ユニクロ事業 +594億円
- ・ グローバルブランド事業+289億円
- ・ 国内ユニクロ事業 +199億円

**売上高総利益率51.2% (前期比▲0.7p)**

- ・ 国内ユニクロ事業 ▲0.8p

**売上高販管費比率37.6% (前期比▲0.1p)**

- ・ 各グループ会社での経費削減

**営業利益 1,264億円、営業利益率13.6% (前期比▲0.6p)**

**経常利益 1,252億円、経常利益率13.5% (前期比+0.4p)**

- ・ 為替差損の減少により、営業外収支が前期比で80億円改善

**当期純利益 716億円、前期比31.8%増**

- ・ 前期に会計処理変更に伴う特別損失96億円を計上
- ・ 米国子会社の赤字による、繰延税金資産取り崩し、キャッシュフローへの影響なし

4

まず売上高ですが、9,286億円と前期比13.2%増、1,083億円の増収となりました。

その内訳ですが、海外ユニクロ事業が594億円の増収、グローバルブランド事業が289億円の増収、国内ユニクロ事業が199億円の増収となっております。

売上高総利益率は51.2%と、前期比0.7ポイント低下いたしました。粗利益率低下の主な要因としては、国内ユニクロ事業の粗利益率が、同0.8ポイント低下したことがあげられます。

売上高販管費比率は37.6%と、前期比0.1ポイント低下しております。これは、各グループ会社で経費を抑制できたことによりです。

これらの結果、営業利益は1,264億円、営業利益率は13.6%と同0.6ポイント低下いたしました。

経常利益につきましては1,252億円、経常利益率は13.5%と、同0.4ポイント上昇しております。

経常利益率が改善した要因は、前期に計上されていた為替差損83億円が、11億円と大幅に減少したことで、営業外収支が前期比80億円改善したことによりです。

当期純利益は716億円、前期比31.8%増となりました。

当期純利益が大幅増益となった要因としては、前期に計上されていた会計処理変更に伴う特別損失96億円がなくなったためです。

また、第4四半期に、米国子会社の赤字により、繰延税金資産を取り崩したため、当期純利益が直近予想を下回る結果となりましたが、キャッシュフローへの影響はありません。

単位：億円

		2011年8月期	2012年8月期			
		通期実績	直近予想 (7/6)	通期実績	前期比	直近予想比
国内ユニクロ事業	売上高	6,001	6,215	6,200	+3.3%	▲0.2%
	営業損益 (売上比)	1,062 17.7%	1,045 16.8%	1,023 16.5%	▲3.6% ▲1.2p	▲2.1% ▲0.3p
海外ユニクロ事業	売上高	937	1,570	1,531	+63.4%	▲2.4%
	営業損益 (売上比)	89 9.6%	160 10.2%	109 7.2%	+22.9% ▲2.4p	▲31.3% ▲3.0p
グローバルブランド事業	売上高	1,240	1,480	1,530	+23.3%	+3.4%
	営業損益 (売上比)	87 7.1%	145 9.8%	145 9.5%	+65.4% +2.4p	+0.3% ▲0.3p

注：連結業績には上記のほか、ファーストリテイリングの業績、のれん償却費が含まれております。

グループ事業別の業績は、こちらのスライドの通りです。

2012年8月期では

国内ユニクロ事業の売上高は6,200億円、営業利益は1,023億円、  
海外ユニクロ事業の売上高は1,531億円、営業利益は109億円、  
グローバルブランド事業の売上高は1,530億円、営業利益は145億円と  
なっております。

## 増収減益

売上高 : 6,200億円(前期比 +3.3%)

営業利益: 1,023億円(前期比 ▲3.6%)

単位: 億円

	2011年8月期	2012年8月期			
	通期実績	直近予想 (7/6)	通期実績	前期比	直近予想比
<b>売上高</b> (売上比)	6,001 100.0%	<b>6,215</b> 100.0%	<b>6,200</b> 100.0%	<b>+3.3%</b>	<b>▲0.2%</b>
<b>売上総利益</b> (売上比)	2,949 49.1%	<b>3,021</b> 48.6%	<b>2,995</b> 48.3%	<b>+1.6%</b> ▲0.8p	<b>▲0.9%</b> ▲0.3p
<b>販管費</b> (売上比)	1,886 31.4%	<b>1,976</b> 31.8%	<b>1,971</b> 31.8%	<b>+4.5%</b> +0.4p	<b>▲0.2%</b> +0.0p
<b>営業利益</b> (売上比)	1,062 17.7%	<b>1,045</b> 16.8%	<b>1,023</b> 16.5%	<b>▲3.6%</b> ▲1.2p	<b>▲2.1%</b> ▲0.3p

6

ここからは各事業についてご説明いたします。

まず国内ユニクロ事業の通期業績ですが、売上高は6,200億円、前期比3.3%増、営業利益は1,023億円、同3.6%減と増収減益の結果となっております。

これは7月に発表した直近予想に比べて、売上高で15億円、営業利益で22億円下回る水準となっております。

詳細については、次のスライドでご説明させていただきます。

**2012年8月期：売上高 6,200億円(前期比 +3.3%)**

### ○大型店化による1店舗当たり売上高の増加

大型店 +20店舗、小型・標準店▲20店舗、S&Bにより1店舗当たり売上高が増加  
 期末の総売場面積は、前期末比4.8%増加

直営店舗数： 出店24店舗、閉店22店舗により2店舗純増  
 期末店舗数 824店舗(フランチャイズ店21店舗除く)

### ○既存店売上高 ▲0.5%(客数 ▲5.3%、客単価+5.1%)

春物在庫を絞り込んだことにより、3月～5月の春物商売が不振  
 7月中旬まで気温が低く推移した影響で、夏物販売本格化の遅れ

直営既存店 前年比	2012年8月期							
	上期	3Q	6月	7月	8月	下期	通期	9月
売上高	+2.3%	▲5.4%	▲7.0%	▲2.0%	+2.0%	▲4.3%	▲0.5%	▲2.4%
客数	▲4.9%	▲7.5%	▲8.1%	▲4.6%	+2.5%	▲5.8%	▲5.3%	+0.2%
客単価	+7.6%	+2.2%	+1.3%	+2.7%	▲0.6%	+1.6%	+5.1%	▲2.6%

7

国内ユニクロ事業の通期の売上高は6,200億円と、前期比3.3%の増収でした。

これは、大型店を20店舗出店し、一方で小型店、標準店を20店舗を閉店するスクラップ・アンド・ビルドを進めた結果、1店舗当たりの売上高が増えたことによります。

なお、期末の総売場面積は前期末比4.8%増加し、  
 期末の直営店舗数は824店舗、2店舗の純増となっております。

一方、通期の既存店売上高は0.5%減と減収の結果でした。  
 上期は2.3%の増収となったものの、下期は4.3%の減収となっております。

下期は、春物在庫を絞り込んだことにより、3月～5月の春物商売が不振だったことに加え、7月中旬まで気温が低く推移した影響により、夏物販売が本格化するのが遅れたことが、減収の要因となっております。  
 また、商品面ではステテコやサラファインブラトップのような新しい商品がありましたが、全般にニュース性のある商品が少なく、需要を喚起できなかったことは反省点としてあげられます。

**2012年8月期：売上高総利益率 48.3% (前期比▲0.8p)**

**上期 (前期比▲1.3p低下)**

- ・綿花をはじめとする素材価格、生産加工賃の上昇により原価率アップ
- ・集客を目的としたヒートテック限定販売の強化

**下期 (前期比▲0.2p低下)**

- ・夏物処分の拡大による影響

	2011年8月期	2012年8月期	
			前期比
通期	49.1%	48.3%	▲0.8p
上期	49.5%	48.2%	▲1.3p
下期	48.6%	48.4%	▲0.2p

8

次に、国内ユニクロ事業の売上高総利益率ですが48.3%と、前期比0.8ポイント低下いたしました。

上期の粗利益率が、前年同期比1.3ポイント低下した理由は、綿花をはじめとする素材価格や生産工場の加工賃が上昇したことにより原価率が上がったこと、集客を目的としたヒートテックの限定販売を強化したことによります。

下期の粗利益率は、前年同期比0.2ポイント低下いたしました。これは、主に第4四半期で夏物処分が拡大した影響によるものです。



### 売上高販管費比率 31.8% (前期比+0.4p)

人件費比率	前年比	▲0.6p
広告宣伝費比率	同	+0.2p
賃借料率	同	+0.2p
減価償却費	同	+0.1p
その他経費比率	同	+0.6p

	2011年8月期		2012年8月期		増減額	
	通期実績	(売上比)	通期実績	(売上比)		(売上比)
販管費合計	1,886	31.4%	1,971	31.8%	+84	+0.4p
人件費	589	9.8%	573	9.2%	▲15	▲0.6p
広告宣伝費	265	4.4%	282	4.6%	+17	+0.2p
賃借料	416	6.9%	439	7.1%	+22	+0.2p
減価償却費	62	1.0%	71	1.1%	+9	+0.1p
その他経費	553	9.2%	605	9.8%	+51	+0.6p

国内ユニクロ事業の売上高販管費比率は31.8%と前期比0.4ポイント上昇いたしました。

これは販促活動を強化した結果、広告宣伝費が増加したこと、銀座店を含む都心の大型店や店舗の大型化により、賃借料および減価償却費の負担が増えたことによります。また、その他経費の増加には、持ち株会社のファーストリテイリングに対するサービスの料率が上昇したことが、影響しております。

一方、人件費比率は、店舗人件費の削減効果により、前期比で低下しております。ただし、今期から生産部の人員を中国子会社に出向させたことで、国内ユニクロの人件費が減少し、そのほぼ同額が、委託費としてその他経費に含まれております。

## 増収増益を達成

### アジア増収増益続く

アジアを中心に既存店売上高の増収、  
中国、台湾、韓国を中心に大量出店が続く  
米国事業は赤字

### 直近予想に比べて計画を下回る

米国、英国、中国、韓国事業が予想を下回る

単位:億円

		2011年8月期	2012年8月期			
		通期実績	直近予想 (7/6)	通期実績	前期比	直近予想比
海外ユニクロ事業	売上高	937	1,570	1,531	+63.4%	▲2.4%
	営業損益	89	160	109	+22.9%	▲31.3%
	(売上比)	9.6%	10.2%	7.2%	▲2.4p	▲3.0p

10

次に、海外ユニクロ事業についてご説明いたします。

売上高は1,531億円、前期比63.4%増、営業利益は109億円、同22.9%増と増収増益を達成いたしました。

これは、アジアを中心に既存店売上高の増収が継続していること、中国、台湾、韓国を中心に大量出店が続いていることによるものです。一方、米国では、グローバル旗艦店やメガストアが出店したことにより、大幅増収となりましたが、赤字の結果となっております。

なお、7月の直近予想に対して、営業利益が計画を下回った理由は、第4四半期において、米国、英国、中国、韓国事業の収益が計画に対して下回ったことによるものです。

詳細につきましては、次のスライドでご説明いたします。

## 各エリアの業績トレンド

- ・中国・香港：既存店売上高の増収続く、66店舗を出店、増収増益  
中国の景気減速見越し夏物処分を早めた結果、4Qは計画未達
- ・台湾：16店舗を出店、ほぼ計画通り増収増益
- ・韓国：18店舗を出店、増収増益  
景気減速による4Qの既存店割れで、営業利益は計画未達
- ・シンガポール・マレーシア：5店舗出店、計画通り増収増益
- ・タイ：4店舗を出店、計画通り好調な売上が続く
- ・フィリピン：1号店を出店し大成功を収める、売上は計画を上回り好調
- ・米国：ニューヨーク3店舗の売上が伸びず、下期は計画を下回る  
ブランドビルディングのための先行投資により、通期で大幅な赤字
- ・フランス：ほぼ計画通りの業績、ラ・デファンス店増床の影響により若干の減益
- ・英国：上期からの減益トレンドが継続、4Qに売上が低迷、  
在庫処分により赤字幅が拡大、計画未達
- ・ロシア：収益性が改善、計画通りの業績、通期黒字を達成

11

まず、中国・香港の通期の業績につきましては、既存店売上高の増収、66店舗を出店したことにより増収増益を達成いたしました。しかし、下期は、中国景気の減速を見越し、夏物処分を早めた結果、第4四半期の営業利益は計画未達となっております。

台湾は16店舗を出店し、ほぼ計画通り増収増益を達成いたしました。

韓国は18店舗を出店し、増収増益を達成いたしました。しかし、韓国景気の減速により、第4四半期の既存店売上高が前年割れとなった結果、営業利益は計画を下回りました。

シンガポール・マレーシアは5店舗を出店し、下期も計画通り増収増益を達成しております。

タイは4店舗を出店し、計画通り好調な売上が続いております。

フィリピンは6月に1号店を出店し大成功を収めました。売上は計画を上回っております。

米国はニューヨークの3店舗の売上が伸びず、下期の業績は計画を下回っております。また、ニューヨークの旗艦店中心としたブランドビルディングのための先行投資を行った結果、通期で大幅な赤字を計上する結果となっております。

フランスはほぼ計画通りの業績を達成いたしましたが、ラ・デファンス店の増床を行った影響で、若干の減益となっております。

英国は上期の減益トレンドが、下期も続き、さらに第4四半期で売上が低迷したことから、在庫処分を進め、赤字幅が計画よりも拡大しております。

ロシアは収益性が改善し、計画通りの業績となり、通期で黒字を達成いたしました。



## 【グローバルブランド事業】2012年8月期実績

### 大幅な増収増益を達成

ジーユー事業：大幅な増収増益、売上高約580億円、営業利益約50億円  
ゆるパン、マキシワンピース等のヒット商品、TVCM効果により  
既存店売上高35%増  
35店舗を出店、期末店舗数176店舗

セオリー事業：過去最高益を更新  
特に日本のセオリー事業が好調、既存店増収が継続  
PLST事業が軌道に乗る

コントワー・デ・コトニエ事業：春夏コレクションから売上回復、計画通り増収増益  
プリンセス タム・タム事業：計画通り前年並みの業績

		2011年8月期	2012年8月期				単位 ：億円
		通期実績	直近予想 (7/6)	通期実績	前期比	直近予想比	
グローバルブランド事業	売上高	1,240	1,480	<b>1,530</b>	+23.3%	+3.4%	12
	営業損益	87	145	<b>145</b>	+65.4%	+0.3%	
	(売上比)	7.1%	9.8%	9.5%	+2.4p	▲0.3p	

グローバルブランド事業の通期の売上高は1,530億円、前期比23.3%増、営業利益は145億円、同65.4%増と、大幅な増収増益を達成いたしました。

ジーユー事業は大幅な増収増益となりました。売上高は約580億円、営業利益は約50億円となっております。

大幅な増収増益となった理由は、35店舗の大量出店したこと、ゆるパン、マキシワンピース等のヒット商品の寄与と、人気タレントを起用したテレビCM効果により、35%という大幅な既存店売上高の伸びを達成したことによります。  
なお、期末の店舗数は176店舗となっております。

セオリー事業は、過去最高益を更新いたしました。  
これは、特に日本のセオリー事業が好調だったことによります。  
日本事業では、既存店売上高の増収が継続していることに加え、新たにプラステ事業が収益に寄与し始めております。

コントワー・デ・コトニエ事業は、春夏コレクションから売上が回復したことにより、計画通り、増収増益を達成いたしました。  
プリンセス タム・タム事業は、計画通り前年並みの業績となっております。

## 【連結】2012年8月末 B/S

単位：億円

	2011年8月末	2012年8月末	増 減
総資産	5,337	5,951	+613
流動資産	3,699	4,245	+545
固定資産	1,638	1,705	+67
負債	2,138	2,002	▲136
純資産	3,199	3,948	+749

13

次に2012年8月末の連結バランスシートのご説明をさせていただきます。

総資産は5,951億円と、前期比613億円増加いたしました。  
これは流動資産が、同545億円、固定資産が、同67億円増加したためです。

詳細については、次のスライドでご説明いたします。

## 【連結】B/Sのポイント(前期末比)

**現金・預金及び有価証券の増加 + 639億円 (2,021億円 ⇒ 2,660億円)**

**たな卸資産の増加 + 62億円 (927億円 ⇒ 989億円)**

【国内ユニクロ事業】▲46億円減 (534億円 ⇒ 488億円)

春秋物在庫の減少 ▲52億円

夏物在庫の減少 ▲6億円

店舗大型化と新店増による在庫の増加 +10億円

【海外ユニクロ事業】+ 78億円増

8月末店舗数が前期末比で、グローバル旗艦店3店舗を含め111店舗増加

【グローバルブランド事業】+ 35億円増

ジーユー事業、セオリー事業の事業拡大による在庫増

**有形固定資産の増加 +112億円 (580億円 ⇒ 692億円)**

ユニクロのグローバル旗艦店4店舗、GU銀座店を含みグループ新規出店215店舗

**為替予約勘定(負債)の減少 ▲370億円 (596億円 ⇒ 226億円)**

【国内ユニクロ事業】為替予約と期末レートの乖離幅が縮小、

ヘッジ会計適用のため損益への影響なし

14

現金・預金及び有価証券の合計額は2,660億円と、前期末比で639億円増加いたしました。これは、国内ユニクロ事業をはじめとする各事業の営業キャッシュ・フローが増加したことによるものです。

たな卸資産は989億円と、前期末比62億円増加しております。国内ユニクロ事業の8月末の在庫は488億円と、同46億円減少いたしました。この内訳としては、春秋物在庫が52億円減少、夏物在庫が6億円減少、店舗の大型化と新店増による在庫の増加が10億円となっております。

海外ユニクロ事業の在庫は、前期末比で78億円増加しております。これは、8月末の店舗数が、前期末比でグローバル旗艦店3店舗を含め、111店舗増えたことが要因です。

グローバルブランド事業の在庫は、前期末比で35億円増加しております。これは、ジーユー事業、セオリー事業の事業拡大に伴って在庫が増加したためです。

有形固定資産は、前期末比で112億円増加しております。これは、ユニクロ事業でニューヨーク、台北、ソウル、銀座のグローバル旗艦店4店舗をオープンしたこと、ジーユー事業で銀座店をオープンしたことを含み、グループ全体の新規出店が215店舗あったことによります。

なお、為替予約勘定は負債側で226億円と、前期末比で370億円減少しております。為替予約は国内ユニクロ事業で、長期的なヘッジ方針に従って予約を行っておりますが、保有する為替予約の平均レートと期末レートの乖離幅が縮小したことから、為替予約勘定が減少したものです。

なお、ヘッジ会計を適用していることから損益への影響はございません。

	2011年8月期 実績	2012年8月期 実績	コメント
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>+571</b>	<b>+1,276</b>	
税金等調整前当期純利益	+938	+1,233	ユニクロ事業をはじめとする各事業の利益貢献
減価償却費、のれんの償却額	+261	+243	
運転資金の増減額	▲173	+24	売上債権、たな卸資産、仕入債務の増減の合計額
法人税等の支払い・還付	▲559	▲326	
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>▲266</b>	<b>▲353</b>	
有形固定資産の取得による支出	▲187	▲237	旗艦店や出店拡大に伴う投資
無形固定資産の取得による支出	▲64	▲74	システム投資など
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>▲261</b>	<b>▲290</b>	
配当金の支払額	▲213	▲221	一株当たり期末配当金85円、中間配当金130円の支払い
現金及び現金同等物の増加額	17	639	新規連結に伴う増加額5億円含む
現金及び現金同等物の期首残高	2,004	2,021	
現金及び現金同等物の期末残高	2,021	2,660	

2012年8月期のキャッシュ・フローについてご説明いたします。

営業活動によるキャッシュ・フローは、ユニクロ事業をはじめとする各事業の利益貢献により1,276億円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは353億円の支出となりました。支出の主な内訳としては、有形固定資産の取得で237億円、システム投資などによる無形固定資産の取得で74億円となっております。

なお、連結の設備投資額は401億円、内訳としては、国内ユニクロ事業で100億円、海外ユニクロ事業で167億円、グローバルブランド事業で55億円、システム投資などで76億円となっております。

財務活動によるキャッシュ・フローは、290億円の支出となりました。支出の主な内訳としては、配当金の支払額221億円となっております。

以上の結果、2012年8月末における現金及び現金同等物の期末残高は2,660億円となりました。

## 【連結】2013年8月期 業績予想

**売上高** : 10,560億円 (前年同期比+13.7%)  
**営業利益** : 1,435億円 (前年同期比+13.5%)  
**経常利益** : 1,425億円 (前年同期比+13.8%)  
**当期純利益** : 845億円 (前年同期比+17.9%)

	2012年8月期	2013年8月期	
	通期実績	通期予想	前期比
売上高 (売上比)	9,286 100.0%	10,560 100.0%	+13.7%
売上総利益 (売上比)	4,754 51.2%	5,400 51.1%	+13.6% ▲0.1p
販管費 (売上比)	3,490 37.6%	3,965 37.5%	+13.6% ▲0.1p
営業利益 (売上比)	1,264 13.6%	1,435 13.6%	+13.5% +0.0p
経常利益 (売上比)	1,252 13.5%	1,425 13.5%	+13.8% +0.0p
特別損益	-18	-40	-
当期純利益 (売上比)	716 7.7%	845 8.0%	+17.9% +0.3p

単位: 億円

ここからは、2013年8月期の業績予想についてご説明いたします。  
 売上高は、1兆560億円、前期比13.7%増、  
 営業利益は、1,435億円、同13.5%増、  
 経常利益は、1,425億円、同13.8%増、  
 当期純利益は、845億円、同17.9%増と、  
 増収増益を予想しております。



**売上高 : 6,530億円 (前期比+5.3%)**

**営業利益 : 1,090億円 (前期比+6.5%)**

単位: 億円

	2012年8月期		2013年8月期	
	通期実績		通期予想	前期比
<b>売上高</b> (売上比)	6,200 100.0%		<b>6,530</b> 100.0%	+5.3%
<b>売上総利益</b> (売上比)	2,995 48.3%		<b>3,175</b> 48.6%	+6.0% +0.3p
<b>販管費</b> (売上比)	1,971 31.8%		<b>2,085</b> 31.9%	+5.8% +0.1p
<b>営業利益</b> (売上比)	1,023 16.5%		<b>1,090</b> 16.7%	+6.5% +0.2p

17

ここからは、事業別の業績予想について、ご説明いたします。

まず、国内ユニクロ事業の通期業績予想につきましては、  
売上高6,530億円、前期比5.3%増、  
営業利益1,090億円、同6.5%増と、増収増益を見込んでおります。

**上期:増収減益  
下期:増収増益**

単位: 億円

	2012年8月期	2013年8月期		2012年8月期	2013年8月期	
	上期実績	上期予想	前年同期比	下期実績	下期予想	前年同期比
<b>売上高</b> (売上比)	3,645 100.0%	<b>3,785</b> 100.0%	+3.8%	2,554 100.0%	<b>2,745</b> 100.0%	+7.4%
<b>売上総利益</b> (売上比)	1,758 48.2%	<b>1,820</b> 48.1%	+3.5% ▲0.1p	1,237 48.4%	<b>1,355</b> 49.4%	+9.5% +1.0p
<b>販管費</b> (売上比)	1,035 28.4%	<b>1,100</b> 29.1%	+6.2% +0.7p	936 36.6%	<b>985</b> 35.9%	+5.2% +0.7p
<b>営業利益</b> (売上比)	722 19.8%	<b>720</b> 19.0%	▲0.3% ▲0.8p	300 11.8%	<b>370</b> 13.5%	+22.9% +1.7p

18

スライド18では、半期ベースでの業績予想を示しております。  
 上期の営業利益は若干の減益となるものの、下期は増益、  
 通期でも、増益を見込んでおります。

	2012年8月期	2013年8月期	
	通期実績	予想	前期比
売上高	6,200 億円	6,530 億円	+5.3%
既存店伸び率(通期)	▲0.5%	+0.9%	-
上期	+2.3%	+0.0%	-
下期	▲4.3%	+2.4%	-
店舗数純増(通期)	2店舗	9店舗	+7店舗
上期	6店舗	7店舗	+1店舗
下期	▲4店舗	2店舗	+6店舗
売上高総利益率(通期)	48.3%	48.6%	+0.3p
上期	48.2%	48.1%	▲0.1p
下期	48.4%	49.4%	+1.0p
売上高販管费率(通期)	31.8%	31.9%	+0.1p
上期	28.4%	29.1%	+0.7p
下期	36.6%	35.9%	▲0.7p

国内ユニクロ事業の業績予想の前提ですが、既存店売上高の伸び率は、上期はプラスマイナス0%、下期はプラス2.4%、通期でプラス0.9%を見込んでおります。

店舗数の純増は、上期7店舗、下期2店舗を計画しており、期末の店舗数は、854店舗となる見込みです。

売上高総利益率は、上期は48.1%と前年同期比でほぼ横ばい。下期は49.4%と、前年同期で1.0ポイントの改善を見込み、通期では48.6%と前年比0.3ポイントの改善を見込んでおります。

販管費比率は、通期で31.9%と、ほぼ前年並みの水準を予想しております。

## アジア地区では増収増益が続く

**中国・香港：増収増益続く**

- ・景気の低迷を勘案し、慎重な売上高、経費、粗利益率により増益
- ・新規出店数は82店舗、大量出店続く

**韓国：景気減速を勘案し、前年比横ばいの営業利益を予想**

- ・25店舗の出店、2店舗の閉店

**台湾：20店舗を出店、期末で37店舗まで拡大**

**シンガポール・マレーシア：7店舗を出店、期末で19店舗まで拡大**

**タイ：5店舗を出店、期末で9店舗まで拡大**

**フィリピン：5店舗を出店**

		2012年8月期	2013年8月期	
		通期実績	通期予想	前期比
海外ユニクロ事業	売上高	1,531	2,160	+41.0%
	営業損益	109	160	+45.5%
	(売上比)	7.2%	7.4%	+0.2p

単位：億円

20

次に、海外ユニクロ事業の業績予想ですが、売上高は2,160億円、前期比41.0%増、営業利益は160億円、前期比45.4%増を予想しております。

増収増益の要因としては、アジア地区における成長が続くこと、米国、英国における収益性の改善があげられます。

中国・香港では、2012年春ごろからの景気低迷を受け、一時的に成長スピードが鈍化するものと考えておりますが、慎重な売上高の予想を前提に、粗利益率、経費をコントロールをすることで、増益を達成する見込みです。出店数は82店舗と、昨年の66店舗に続き、大量出店を計画しております。

韓国では、ウォン安の影響もあり、粗利益率が若干悪化することから、営業利益は前年比ほぼ横ばいを見込んでおります。25店舗の出店、2店舗の閉店を計画しております。

台湾では、今期も20店舗の出店を計画、期末の店舗数は37店舗まで拡大する予定です。

シンガポール・マレーシアでは合わせて7店舗の出店を計画、期末の店舗数は19店舗まで拡大いたします。

タイは、5店舗の出店を計画、期末の店舗数は9店舗まで拡大いたします。

6月に1号店をオープンし、大盛況となったフィリピンでは、5店舗の出店を計画しております。

この結果、アジア地区全体では144店舗の出店、2店舗の閉店を見込んでおります。

### 米国、英国では収益性が大幅に改善

米国:赤字幅が大幅に縮小する見込み

- ・ニュージャージー州 Garden State Plaza店、San Francisco Union Square店は好調な滑り出し
- ・インターネット販売を開始
- ・ニューヨーク3店舗の収益の改善

英国:欧州全体の経営統合による効率化、収益性の改善

フランス:パリ市内に新店オープン、  
営業利益はほぼ前年並みを見込む

ロシア:営業利益はほぼ前年並みを見込む

次に米国ですが、今期は収益性が改善することにより、赤字幅が大幅に縮小する見込です。

すでにオープンした、ニュージャージー州のGarden State Plaza店、および西海岸初の出店となった、San Francisco Union Square店は好調な滑り出しとなっております。

これらの新店の寄与、今期中に開始するインターネット販売、ニューヨーク3店舗の収益改善によって、米国での採算は大幅に改善する見込です。

英国は、欧州全体の経営統合による効率化により、収益性の改善をめざしております。

フランスでは、秋にパリ市内に新店をオープンする予定です。  
営業利益はほぼ前年並みを見込んでおります。

ロシアも、ほぼ前年並みの営業利益を見込んでおります。

この結果、欧米では3店舗の出店を見込み、期末の海外ユニクロ事業全体の店舗数は、437店舗に達する見込です。

## ジーユー、セオリーは二桁増益

ジーユー事業：既存店売上高の増収、60店舗の新規出店  
売上高は約800億円へ拡大、二桁増益を見込む

セオリー事業：好調な売上トレンド続く、PLST事業で出店増  
大幅な増収、二桁増益を見込む

コントワー・デ・コトニエ事業：春夏コレクション以降、売上が回復  
増収増益を見込む

プリンセス タム・タム事業：前年比ほぼ横ばいを予想

単位：億円

		2012年8月期	2013年8月期	
		通期実績	通期予想	前期比
グローバルブランド事業	売上高	1,530	1,850	+20.9%
	営業損益	145	185	+27.2%
	(売上比)	9.5%	10.0%	+0.5p

22

次にグローバルブランド事業の業績ですが、売上高は1,850億円、前期比20.9%増、営業利益は185億円、同27.2%増を予想しております。

ジーユー事業は、既存店売上高の増収が続くこと、60店舗の出店により、売上高は約800億円へ拡大する見込みで、二桁の増益を予想しております。

セオリー事業は、今期も好調な売上トレンドが続くこと、日本ではプラステ事業で出店が進むことにより、大幅な増収、二桁の増益を見込んでおります。

コントワー・デ・コトニエ事業は、好調な春夏コレクション以降、売上が回復しており、増収増益を見込んでおります。  
プリンセス タム・タム事業は、前年比ほぼ横ばいの業績を予想しております。

## 2013年8月期 グループ事業別 業績予想

単位：億円

		2012年8月期	2013年8月期	
		通期実績	通期予想	前期比
国内ユニクロ事業	売上高	6,200	6,530	+5.3%
	営業損益	1,023	1,090	+6.5%
	(売上比)	16.5%	16.7%	+0.2p
海外ユニクロ事業	売上高	1,531	2,160	+41.0%
	営業損益	109	160	+45.5%
	(売上比)	7.2%	7.4%	+0.2p
グローバルブランド事業	売上高	1,530	1,850	+20.9%
	営業損益	145	185	+27.2%
	(売上比)	9.5%	10.0%	+0.5p

注 連結業績には上記のほか、ファーストリテイリングの業績、のれん償却費が含まれております。

グループ事業別の業績予想はスライド23の通りとなっております。

## 配当金予想

2012年8月期 年間配当金 260円を見込  
2013年8月期 年間配当金 280円を予定

	1株当たり配当金		
	中間	期末	通期
2011年8月期	95円	85円	180円
2012年8月期 <sup>※1</sup>	130円	130円	260円
2013年8月期(予) <sup>※2</sup>	140円	140円	280円

※1 2012年8月期の期末配当金は、2012年11月5日開催予定の当社取締役会での決議を前提としています。  
※2 業績や資金需要に大きな変動が生じた場合、期末配当金額を変更することがあります。

最後に、年間配当金についてご説明させていただきます。

2012年8月期の配当金は、期末配当金130円を含み、1株当たりの年間配当金260円を見込んでおります。

2013年8月期の配当金につきましては、中間配当金140円、期末配当金140円、あわせて年間で280円を予定しております。

以上で、私からの説明を終わります。ありがとうございました。



## 連結対象会社別出退店 実績・予想

【単位：店舗】	11年8月 期末	2012年8月期末			期末	2013年8月期末 予想			期末
		出店	退店	純増減		出店	退店	純増減	
<b>ユニクロ事業合計</b>	<b>1024</b>	<b>140</b>	<b>27</b>	<b>+113</b>	<b>1,137</b>	<b>199</b>	<b>45</b>	<b>+154</b>	<b>1,291</b>
<b>国内ユニクロ事業※</b>	<b>843</b>	<b>25</b>	<b>23</b>	<b>+2</b>	<b>845</b>	<b>52</b>	<b>43</b>	<b>+9</b>	<b>854</b>
直営店	822	24	22	+2	824	51	40	+11	835
大型店	129	20	2	+18	147	33	1	+32	179
標準店等	693	4	20	▲16	677	18	39	▲21	656
FC	21	1	1	0	21	1	3	▲2	19
<b>海外ユニクロ事業：</b>	<b>181</b>	<b>115</b>	<b>4</b>	<b>+111</b>	<b>292</b>	<b>147</b>	<b>2</b>	<b>+145</b>	<b>437</b>
中国(除く香港)	80	65	0	+65	145	80	0	+80	225
香港	15	1	0	+1	16	2	0	+2	18
台湾	1	16	0	+16	17	20	0	+20	37
韓国	62	18	0	+18	80	25	2	+23	103
シンガポール	5	2	0	+2	7	4	0	+4	11
マレーシア	2	3	0	+3	5	3	0	+3	8
タイ	-	4	0	+4	4	5	0	+5	9
フィリピン	-	1	0	+1	1	5	0	+5	6
英国	11	2	3	▲1	10	0	0	0	10
米国	1	2	0	+2	3	2	0	+2	5
フランス	1	1	0	+1	2	1	0	+1	3
ロシア	3	0	1	▲1	2	0	0	0	2
<b>ジーユー事業</b>	<b>148</b>	<b>35</b>	<b>7</b>	<b>+28</b>	<b>176</b>	<b>60</b>	<b>20</b>	<b>+40</b>	<b>216</b>
<b>セオリー事業※</b>	<b>371</b>	<b>27</b>	<b>25</b>	<b>+2</b>	<b>373</b>	<b>40</b>	<b>1</b>	<b>+39</b>	<b>412</b>
<b>コントワー・デ・コトニエ事業※</b>	<b>386</b>	<b>12</b>	<b>15</b>	<b>▲3</b>	<b>383</b>	<b>15</b>	<b>8</b>	<b>+7</b>	<b>390</b>
<b>プリンセス タム・タム事業※</b>	<b>159</b>	<b>2</b>	<b>8</b>	<b>▲6</b>	<b>153</b>	<b>7</b>	<b>5</b>	<b>+2</b>	<b>155</b>
<b>総合計</b>	<b>2,088</b>	<b>216</b>	<b>82</b>	<b>+134</b>	<b>2,222</b>	<b>321</b>	<b>79</b>	<b>+242</b>	<b>2,464</b>

※ FC店含む

**【連結】2013年8月期 上期業績予想**

単位：億円

	2012年8月期	2013年8月期	
	上期実績	上期予想	前年同期比
<b>売上高</b> (売上比)	5,255 100.0%	<b>5,855</b> 100.0%	+11.4%
<b>売上総利益</b> (売上比)	2,684 51.1%	<b>2,980</b> 50.9%	+11.0% ▲0.2p
<b>販管費</b> (売上比)	1,767 33.6%	<b>2,050</b> 35.0%	+16.0% +1.4p
<b>営業利益</b> (売上比)	917 17.5%	<b>930</b> 15.9%	+1.4% ▲1.6p
<b>経常利益</b> (売上比)	935 17.8%	<b>925</b> 15.8%	▲1.1% ▲2.0p
<b>当期利益</b> (売上比)	577 11.0%	<b>555</b> 9.5%	▲4.0% ▲1.5p

適用為替レート

単位：円

	1USD	1EUR	1GBP	1RMB	100KRW
2011年8月期 通期(12ヶ月平均)	82.0	113.2	131.1	12.4	7.0
2012年8月期 通期(12ヶ月平均)	78.6	103.9	124.3	12.4	6.9
2013年8月期 通期予想レート	80.0	100.0	125.0	12.5	7.0

設備投資 減価償却費 のれん償却額

単位：億円

	設備投資	減価償却費	のれん償却額
2011年8月期 通期実績(12ヶ月累計)	339	187	65
2012年8月期 通期実績(12ヶ月累計)	401	185	56
2013年8月期 通期予想(12ヶ月累計)	340	186	40

※ 2011年8月期の減価償却費実績には、固定資産減価償却の一括償却分40億円を含む

**会計処理の変更に伴う特別損失 合計 96億円**

**物流費一括償却** ▲26億円

物流費・商品倉庫料の計上基準を統一したことに伴い、2010年8月末時点の在庫に含まれる物流費・商品倉庫料の相当額を一括償却

**固定資産の減価償却費一括償却** ▲40億円

固定資産の減価償却費計上基準を統一したことに伴う、過去分一括償却

**資産除去債務過去分一括償却** ▲29億円

資産除却債務会計基準の適用に伴い、過去分を一括償却

**その他の特別損失 合計 38億円**

**災害による損失** ▲10億円

東日本大震災に伴うもの

**減損損失** ▲ 8億円

プリンセス タム・タム事業にかかるのれんの減損 5億円含む

**事業整理損失引当金繰入額** ▲ 8億円

靴販売専門店の閉店に伴うもの